



参加無料

ひきこもりサポーター 養成講座

健康福祉課生活支援係 TEL 25-1181
鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188

だれにでも起こりうる「ひきこもり」について理解を深め、ひきこもりに悩む本人や家族を支え、理解者となつていただけるよう「ひきこもりサポーター養成講座」を実施します。

ひきこもり状態にあるかたの気持ちを知り、歩みを支えるためのヒントを学びます。みなさんの参加をお待ちしています。

とき 7月29日(水) 午前10時～午後3時

1部 午前10時～正午

2部 午後0時50分～3時

ところ 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール

定員 50人

講座内容

1部

●鳥羽市の施策紹介

鳥羽市健康福祉課生活支援係

●三重県の施策紹介

三重県子ども・福祉部 地域共生社会推進監 今西 康裕 氏

●講義「ひきこもりの理解と対応について」

三重県こころの健康センター 技術指導課 柳世 大輔 氏

2部

●講義「寄り添うとは何か～元当事者の視点から～」

自助会「さなぎぞと」代表 中谷 信哉 氏

※1部・2部の両方に参加したかたは、ひきこもりサポーターとして登録することができます(後日説明会あり)。

※ひきこもりサポーターには、身近な地域での見守り活動・居場所での支援・研修会の支援など、各自ができる範囲で活動をしていただいています。

講師 中谷 信哉 氏

ひきこもり経験者 / 支援者

精神保健福祉士

医療法人 上島医院 経営企画課課長

ひきこもりなどの自助グループ「さなぎぞと」代表

オンライン相談支援「居ながら相談所」代表



自助会や精神科でひきこもりのかたと関わり続けている僕ですが、正直、人生で2度ひきこもるとは思いもしませんでした。でも、そうせざるを得ないきっかけと精神的な脆さがあったのだと、今では受け容れられます。講座でお話しするのは、ひきこもり状態に苦しみ、ひきこもり状態を受け容れ、ひきこもり状態を楽化する努力について考え抜いた末の経験談です。当時しんどい思いをしたからこそ見える、楽な寄り添いかたを身近に感じていただけると嬉しいです。

申込方法

右の申込フォームまたは、電話・FAX・メールのいずれかで、参加者の氏名・電話番号・メールアドレスを7月24日(金)までにお知らせください。

問い合わせ先

鳥羽市社会福祉協議会 参加支援・ひきこもりサポート事業 さんぽみち

TEL 25-1188 FAX 25-1117 ✉ sanpomichi@toba-shakyo.or.jp



申込フォーム

参加支援・ひきこもりサポート事業「さんぽみち」について

鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188

長い間就労や地域活動から離れた生活を送っているかた、自分らしい生活に必要なことを一緒に考えていきませんか。

ゆるりとカフェを開いています。遊びにきませんか。時間や場所などくわしくは、鳥羽市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



鳥羽市社会福祉協議会
ホームページ



鳥羽市社会福祉協議会
メールアドレス

どなたでも
お気軽にどうぞ!!

「喫茶さんぽみち」
オープンしています♪

とき：毎月第3金曜日
午前11時30分～午後1時30分
ところ：ひだまりラウンジ

相談受付

毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時

鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188

✉ sanpomichi@toba-shakyo.or.jp

担当：竹村・向中野